

空調制御装置

モーター止めず電力調整

市場をつくる



HR社長

網島 弘幸 氏

HR（大阪市西区、網島弘幸社長、06・6541・0251）は、網島社長が自動車会社の生産技術部門などで培った設計技術の経験を生かすため、2013年10月に設立した。主力の空調制御装置（デマンドコントロールシステム）「エコミラ」は空調機の冷媒ガスのモーターを止めずに電力を調整し、電気を削減する。網島社長にその優位性や市場性を聞いた。（大阪・香西貴之）

「エコミラ開発のきっかけは、

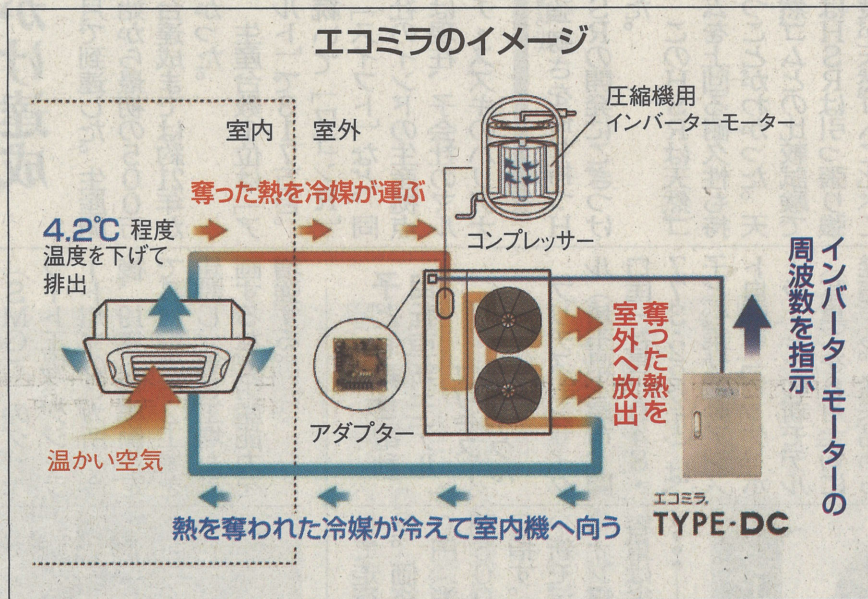
「設計者として半導体製造ラインを手がけていた頃、厳しい空調管理が必要で空調機を開発したことが原点にある。空調機に外部接続し、空調の冷媒のインバーターモーターの回転数を抑えて節電する仕組みを考案した」

「エコミラの特徴と優位性は、

「エコミラは、車で例えるとエコモード設定と同じ。ゆっくり進むと燃費が向上する。通常、空調機が起動し2時間で設定温度になる場合、エコミラは2時間半でゆっくり調整し、空調機の負荷を抑える。空調機の年間契約電力基本料金を決める1年の最大デマンド値を抑えて、電気代を約30%削減する」

「普及の状況は、約400店に納入した。遊技場など定期的な室内空気を入れ替えが必要な顧客には、換気量を制御したり、集客率に応じて調整したりできる機種をそろえ、販売も伸びている。また、最近では作業環境改善へ空調を充実させる工場の需要も高まっている」

代理店活用 年100店超拡販



「17年に日本冷凍空調設備工業連合会の『優良省エネルギーギ―設備顕彰』の最優秀賞を、空調制御装置で唯一連続受賞した。ダイキンなど大手空調機器4社の製品に設置しても、製品保証対象外にならない。同年には大阪市が支援する育成事業に技術が認定された。今後は自治体への提案にも注力したい」

「今後の事業展開は、市場の開拓はこれから。遊技機の卸業者や省エネルギーコンサルタントなど約20

「空調業界や自治体からも技術が認められてきました」